

播磨産 *Micadina* 属 3 種の記録

相坂 耕作

筆者は次の3種のトビナナフシを播磨地方にて採集しているので報告しておく。

ニホントビナナフシ	<i>Micadina phluctaenoides</i>		
佐用郡佐用町福吉	13-IX-1992	1 ♀	
宍粟郡波賀町上野	02-IX-1994	6 ♀	
シラキトビナナフシ	<i>Micadina</i> sp.		
宍粟郡波賀町坂の谷	13-IX-1992	3 ♀	
ヤスマツトビナナフシ	<i>Micadina yasumatsui</i>		
宍粟郡波賀町坂の谷	15-IX-1992	1 ♀	

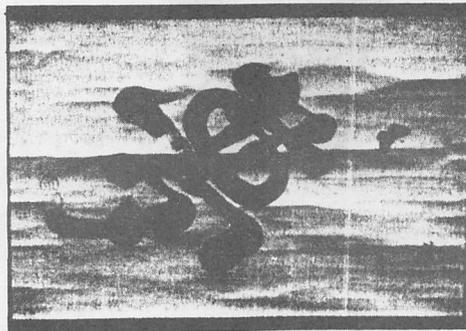
これらの種類はいずれも産卵させ、卵の形態により分類した。

洒落の蝶

相坂 耕作

酒井家は、寛延2年(1749)酒井忠恭が前橋より姫路へ移封されて以来10代120年の間藩主をつとめ、最後の姫路城主となった。その酒井家代々の姫路城主を祀る姫路神社が姫山公園内にある。酒井家の2代目城主忠以(宗雅)と実弟の忠因(抱一)とは初代忠恭の孫にあたり、ともに茶道、書画などに才能を発揮し、特に抱一は有名である。

姫路神社には宗雅の書に、抱一が蝶を書き添えた珍しい懸物がある。寝姿ともみえる書体に小さな蝶があしらってある。姫路の文化財(第2巻)・・・姫路市教育委員会発行(1990)の解説によると「莊周が夢の中で蝶になり、よろこんで飛んだり舞ったりしているうちに自分が蝶の夢を見ていたか、蝶が周の夢を見ているのか、彼我の別を忘れた」との故事にちなんだ作品とある。いずれにせよ洒落である。



姫路神社蔵
姫路の文化財・姫路市教育委員会発行より